

単元名

# 日清・日露戦争と近代産業

## 1 単元のねらい

欧米列強のアジア進出の中で、日本の国際的な地位が向上したことや、国内での産業革命や学問、教育などの発展によって、近代文化が形成されたことが分かる。

## 2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争を通して世界の列強と肩を並べるまでに成長した日本の動きについて理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>・戦争を通して世界の列強と肩を並べるまでに成長した日本の動きについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争を通して世界の列強と肩を並べるまでに成長した日本の動きについて、多面的・多角的に考察し、その過程を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争を通して世界の列強と肩を並べるまでに成長した日本の動きに関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</li> </ul>

### ●学習改善につなげる評価 ☆評定に用いる評価

	1	2	3	4	5	6
知識・技能		●	○			
思考・判断・表現				●	●	○
主体的に学習に取り組む態度	●					○

3 単元構造図（全6時間）☆獲得する認識

単元名

日清・日露戦争  
と近代産業

単元学習前の生徒の認識

日本は憲法も制定され、近代国家として歩み始めている。国内の制度は整いつつあるけれども、国際的な関係、特に中国や朝鮮など、アジアの国々との関りはどのように変化していくのだろうか。

第1時 欧米列強の侵略とアジア諸国【●主体的に学習に取り組む態度】

明治時代の後半、日本や世界ではどのようなことが起こっているのだろう。

☆帝国主義、条約改正、欧化政策、陸奥宗光

欧米列強が帝国主義政策を進め、アジアやアフリカに植民地を広げていく中で、日本は2度の戦争を行い、不平等条約改正も成功させていった。同じアジアなのに、日本が発展したのはなぜだろう。

欧米列強が帝国主義を進めてアジアに進出する中で、日本が発展したのはなぜだろう。

第2時 日清戦争【●知識・技能】

日清戦争はどのような結果となったのだろう。

☆甲午農民戦争、日清戦争、下関条約  
三国干渉、立憲政友会

日本は日清戦争に勝ったことで、多額の賠償金や領地を手に入れた。また、「眠れる獅子」と言われていた清に勝ったことは日本の国際的地位の向上にもつながった。しかし、三国干渉によって遼東半島を失うことになったことで、ロシアへの対抗心が高まった。

第3時 日露戦争【○知識・技能】

大国ロシアとの戦争は、日本や世界にどのような影響を与えたのだろう。

☆義和団事件、日英同盟、日露戦争、ポーツマス条約

ロシアに対して韓国での優位を確保したい日本は、多くの犠牲を払いながらも、日露戦争でロシアに勝利した。このことにより、日本の国際的地位が向上した。しかし、下関条約ほど日本の得たものがなかったのは、重税などで苦しんだ国民に不満を与えた。また、勝利によって国民には大国意識が生まれ、アジア諸国を軽視するようになっていった。

第4時 韓国と中国【●思考・判断・表現】

日清・日露戦争の戦場となった韓国や中国では、どのような動きがあったのだろう。

☆韓国併合、南満州鉄道、三民主義、孫文、中華民国、辛亥革命

日本は2つの戦争を通して、国際的地位の向上を進めてきた。しかし、アジア諸国を軽視し、韓国植民地化により、韓国の人々に屈辱や苦痛を与えていった。日本の国力向上は、周辺諸国の犠牲の上に成り立っていた。

第5時 産業革命の進展【●思考・判断・表現】

なぜ日本の産業は急激に発展したのだろう。

☆八幡製鉄所、財閥

日本は戦争によって国際的地位を高め、朝鮮や中国を中心とするアジアでの支配権を強め有利に貿易を行ったことで、輸出量を伸ばし産業を発展させることに成功した。しかし、この発展の裏には低賃金・長時間労働をする労働者たちの存在があった。労働者たちの多くは農村出身者で、労働者たちの営みは、農村の生活の向上にもつながったが、一方で、国民の貧富の差が広がることにもなった。

第6時 近代文化の形成【○思考・判断・表現、○主体的に学習に取り組む態度】

明治の人が多く取り上げられているのはどうしてだろう。

☆横山大観、黒田清輝、樋口一葉、夏目漱石、森鷗外、野口英世

この時代は、文学や芸術の面で新しい動きが起こってきた。それは欧米の要素を積極的に取り入れたものだった。科学の面でも世界の先駆けとなる発見や研究が行われた。それらは、明治維新の教育を受けた成果であった。

単元学習後の生徒の認識

明治政府は欧米の帝国主義に習い、不平等条約の改正と共に日清・日露戦争を経て海外に侵出していった。対外戦争に勝利したことや、それに伴う国内の産業革命、文化・芸術・科学の面での著しい進歩などによって国際的地位を高めることができた。しかし、帝国主義の進展に伴って国内の貧富の差が広がったり、韓国の人々に苦しい思いをさせたりするなど、弊害も見られるようになった。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	◇資料 指導・援助
1 欧米列強の侵略とアジア諸国	<p>日本や世界の動きについて調べる活動を通して、欧米諸国が帝国主義政策により植民地を獲得する中で、日本は2度の戦争を行い、不平等条約の改正を成功させたことに気づき、日本がどのように国際的な地位を高めていったのか追究しようとする意欲をもつことができる。</p> <p>☆帝国主義 ☆条約改正 ☆欧化政策 ☆陸奥宗光</p>	<p>1 前単元のふり返りから課題を設定する。 明治時代の後半、日本や世界ではどのようなことが起こっているのだろうか。</p> <p>2 明治時代の年表をもとに個人で追究し、全体で交流する。 ・日清戦争、日露戦争が起こっている。 ・不平等条約が改正された。 ・国内でも産業革命が進展した。 ・アジアやアフリカは、欧米列強の植民地となっていた。</p> <p>3 欧米列強がアジア、アフリカに植民地を広げた理由を調べる。 ・生産に必要な原料の供給地として、また、生産した製品の市場を求めた。 ・海外に工場・鉱山・鉄道を設け、原住民を低賃金で働かせて多くの利益を得ようとした。</p> <p>4 「帝国主義」という世界の動きの中で、日本が2度の戦争や不平等条約改正を通して国際的地位を高めていった事実を知り、単元を貫く課題を設定する。 《単元を貫く課題》</p> <p>欧米列強が帝国主義を進めてアジアに進出する中で、日本が発展したのはなぜだろう。</p> <p>5 感想を書く。</p> <p>欧米列強が帝国主義政策を進め、アジアやアフリカに植民地を広げていく中で、日本は2度の戦争を行い、不平等条約改正も成功させていった。同じアジアなのに、日本が発展したのはなぜだろう。</p>	<p>当時の日本や世界の動きに関心をもち、日本の国際的地位が高まっていった過程について追究しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>◇明治時代年表 ◇列強の世界分割 ◇アフリカをまたぐ巨人</p> <p>・日本の動きだけでなく、世界の動きにも目を向けることができるようにする。</p>
2 日清戦争	<p>日清戦争の結果について調べる活動を通して、日本は戦争に勝利したことで多額の賠償金や領土を手に入れ国際的地位を向上させたことや、三国干渉によってロシアへの対抗心が高まったことが分かる。</p> <p>☆甲午農民戦争 ☆日清戦争 ☆下関条約 ☆三国干渉 ☆立憲政友会</p>	<p>1 日清戦争の風刺画から、日清戦争のあらましを知る。 ・朝鮮をめぐり、日本と清が対立しており、それをロシアがねらっている。 ・甲午農民戦争をきっかけに朝鮮半島を戦場にして起こった戦争だった。</p> <p>日清戦争はどのような結果となったのだろうか。</p> <p>2 戦争の結果について個人で追究し、全体で交流する。 ・清は朝鮮の独立を認めた。 ・清は日本に対して多額の賠償金を支払う。 ・清の主な都市や港を開いて、日本国民の居住、営業の自由を認める。 ・遼東半島、台湾、澎湖諸島を日本に譲り渡す。 ・「眠れる獅子」と言われていた清に勝ったことで日本の国際的地位が高まった。</p> <p>3 三国干渉と日本の対応について確認する。 ・遼東半島は、ロシア・ドイツ・フランスの三国の干渉を受けて清に返還した。 ・ロシアへの対抗心が高まった。</p> <p>4 まとめを書く</p> <p>日本は日清戦争に勝ったことで、多額の賠償金や領地を手に入れた。また、「眠れる獅子」と言われていた清に勝ったことは日本の国際的地位の向上にもつながった。しかし、三国干渉によって遼東半島を失うことになったことで、ロシアへの対抗心が高まった。</p>	<p>戦争の結果、日本の国際的地位が向上したことや三国干渉によってロシアへの対抗心が高まっていったことを理解している。【知・技】</p>	<p>◇魚つりの会 ◇日清戦争 ◇下関条約 ◇列強の中国分割 ◇三国干渉</p> <p>・下関条約の内容から、日本が清に対して優位に立っている条文を見付けることができるようにする。</p>

<p>3 日露戦争</p>	<p>日本が多くの犠牲を払いながらも、日露戦争でロシアに勝利した理由について考える活動を通して、ロシアの南下政策に対する朝鮮半島での優位性を確保するためだったが、戦争によって国民に多くの負担を与えたとともに、アジアに対する優越感が強まっていったことを表現することができる。</p> <p>☆義和団事件 ☆日英同盟 ☆日露戦争 ☆ポーツマス条約</p>	<p>1 日露戦争における日本とロシアの戦力の比較と戦争の結果から課題を設定する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">         大国ロシアとの戦争は、日本や世界にどのような影響を与えたのだろうか。       </div> <p>2 課題について個人で追究し、全体で交流する。          ・日清戦争より戦費や兵力を多く費やした。          ・大きな犠牲を払って勝利した。          ・イギリスと利害が一致して援助を得た。          ・国民も増税に耐えた。</p> <p>3 ポーツマス条約の内容を確認する。          ・韓国における日本の優越権を認めさせた。          ・旅順、大連の租借権と長春以南の鉄道の権利を譲られた。          ・樺太の南半分とオホーツク海の漁業権を得た。</p> <p>4 小村寿太郎が賠償金のない条約を結んだ理由について考える。          ・賠償金がなく、その他の日本の得た権益も少なかったが、今結ばないとロシアに負けてしまうかもしれない。          ・賠償金はないが、三国干渉で返還した遼東半島を取り戻して、大きなメリットもあった。          ・この勝利によって、列強の一員となったという大国意識が国民に生まれ、アジアに対する優越感が強まった。</p> <p>5 まとめを書く</p> </p>	<p>日本がロシアに勝利したことで、国際的地位が高まると同時に朝鮮半島を中心とするアジアでの日本の支配権が強まったことを読み取っている。【知・技】</p>	<p>◇日本とロシアの戦力差          ◇ポーツマス条約          ◇日露の対立をめぐる列強の関係          ◇日露戦争の主な戦い          ◇国民の税負担グラフ          ◇日比谷焼き打ち事件          ◇小村寿太郎の言葉</p> <p>・ポーツマス条約の内容から「朝鮮半島の優位性の確保」を見付けることができるようにする。</p>
<p>ロシアに対して韓国での優位性を確保したい日本は、多くの犠牲を払いながらもロシアに勝利した。このことにより、日本の国際的地位が向上した。しかし、下関条約ほど日本の得たものがなかったのは、重税などで苦しんだ国民に不満を与えた。また、勝利によって国民には大国意識が生まれ、アジア諸国を軽視するようになっていった。</p>				

<p>4 韓国と中国</p>	<p>日本が植民地化するために韓国で行ったことについて調べる活動を通して、植民地になった国は自国の歴史や母国語の学習などが禁じられるなど、民族の誇りが傷つけられたことに気づき、日本の国力向上はこれらの犠牲の上に成り立っていたことが分かる。</p> <p>☆韓国併合 ☆南満州鉄道 ☆三民主義 ☆孫文 ☆中華民国 ☆辛亥革命</p>	<p>1 下関条約、ポーツマス条約から、朝鮮半島を支配下に置く契機となる条文を読み取り、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日清・日露戦争の戦場となった韓国や中国では、どのような動きがあったのだろうか。</p> </div> <p>2 日清・日露戦争後の韓国や中国の様子を資料から調べ、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国内での日本軍の自由を認めさせた。</li> <li>・韓国の外交権を制限後、それを奪って韓国を保護国化し、統監府を設置した。</li> <li>・皇帝を退位させ、内政権も日本が握った。</li> <li>・1910年、日韓併合条約を結んで完全な植民地とし、朝鮮史の学習を禁じて日本史や日本語を教えた。</li> <li>・土地調査事業で、所有権の明確でなかった土地を奪った。</li> </ul> <p>3 伊藤博文の暗殺や「日本を見る外国人の目」から、韓国の植民地化について自分の考えを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本はこうした植民地にならないために近代化を進めてきたんだ。</li> <li>・日本の国力向上はこういった周辺諸国の犠牲の上に成り立っている。</li> </ul> <p>4 まとめを書く。</p> <p>日本は2つの戦争を通して、国際的地位の向上を進めてきた。しかし、アジア諸国を軽視し、韓国植民地化により、韓国の人々に屈辱や苦痛を与えていった。日本の国力向上は、周辺諸国の犠牲の上に成り立っていた。</p>	<p>日本の植民地化の動きから、日本が国際的地位の向上を進めた背景には、周辺諸国の犠牲があったことを読み取り、表現している。</p> <p>【思・判・表】</p>	<p>◇下関条約 ◇ポーツマス条約 ◇日本語で授業を受ける朝鮮の子どもたち ◇明治時代の終わりごろの朝鮮半島と中国 ◇伊藤博文の暗殺 ◇日本を見る外国人の目</p> <p>・日本と韓国の両方の立場から考えることができるようにする。</p>
<p>5 産業革命の進展</p>	<p>経済発展の理由について調べる活動を通して、日本の産業の発展が、アジアの植民地化による輸出の増加と厳しい労働条件の中で懸命に働いてきた労働者たちの努力や苦労によって成り立っていたことに気づき、国内の貧富の差が拡大していったことが分かる。</p> <p>☆八幡製鉄所 ☆財閥</p>	<p>1 日清戦争頃からの産業の発展を資料から読み取り、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ日本の産業は急激に発展したのだろうか。</p> </div> <p>2 前時の学習内容と国内の労働者の様子から、日本の産業発展を支えた要因について個人で追究し、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕末の貿易国と比較すると、アジアが増えていることが分かる。これは前時に学習したようにアジアの支配権を日本が強めたからだ。</li> <li>・1日18時間労働するなど、とても厳しい仕事をして日本の経済を支えている人たちがいた。</li> <li>・工女として働いたのは、農村出身者でしかも10代の子が多かった。農村の生活が向上したのはこのためだ。</li> <li>・富を蓄える地主と商品経済に巻き込まれた☆細な農民や、財閥と労働者など貧富の差が拡大した。</li> </ul> <p>4 まとめを書く。</p> <p>日本は戦争によって国際的地位を高め、朝鮮や中国を中心とするアジアでの支配権を強め有利に貿易を行ったことで、輸出量を伸ばし産業を発展させることに成功した。しかし、この発展の裏には低賃金・長時間労働をする労働者たちの存在があった。労働者たちの多くは農村出身者で、労働者たちの営みは、農村の生活の向上にもつながったが、一方で、国民の貧富の差が広がることにもなった。</p>	<p>日本の産業が発展した理由を、植民地となった朝鮮や厳しい労働条件の中で働く労働者という視点から考察し、産業の発展が貧富の差を拡大させたことを表現している。【思・判・表】</p>	<p>◇各種産業部門の発展と日本の貿易の変化 ◇綿糸の生産と貿易の変化 ◇明治時代の終わりごろの朝鮮半島と中国 ◇製糸工場で働く工女とその一日 ◇工女の出身や年齢、休日 ◇農村の暮らしの変化</p> <p>・前時の植民地化とつなげ、多面的に考えることができるようにする。</p>

<p>6 近代文化の形成</p>	<p>明治期の文化の発展に活躍した主な人物たちの業績を調べることを通して、学制発布以来の学校教育の普及とともに、西洋文化を積極的に吸収しようとした姿勢が近代文化の形成に貢献したことが分かる。</p> <p>☆横山大観 ☆黒田清輝 ☆樋口一葉 ☆夏目漱石 ☆森鷗外 ☆野口英世</p>	<p>1 お札の肖像に登場する人物を挙げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>明治の人が多く取り上げられているのはどうしてだろう。</p> </div> <p>2 文学や科学、芸術の分野で活躍した人物と業績を調べる。</p> <p>《文学》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坪内逍遙…言文一致</li> <li>・二葉亭四迷…口語体で『浮雲』</li> <li>・ロマン主義＝短歌の与謝野晶子，小説の樋口一葉</li> <li>・田山花袋＝社会の現実を直視する自然主義</li> <li>・西洋文明と本格的に取り組んだ日本の知識人の行き方を描く＝夏目漱石，森鷗外</li> </ul> <p>《芸術》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸術の保存と復興＝フェノロサ，岡倉天心</li> <li>・横山大観＝日本画の伝統的な技法を近代美術として再興</li> <li>・黒田清輝＝洋画発展の基礎を築いた。</li> <li>・滝廉太郎＝洋楽の道を開いた。</li> </ul> <p>《科学》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野口英世＝黄熱病の病原体発見</li> <li>・長岡半太郎＝原子模型の研究</li> <li>・北里柴三郎＝破傷風血清療法の発見</li> </ul> <p>3 近代文化発展の背景を調べる。</p> <p>明治政府が初期の段階から力を入れてきた教育の普及のおかげで、基礎学力をつけ、高等教育を受けた人々の中から、西洋の進んだ文化を積極的に取り入れ、または日本の伝統的な文化と融合を図った。これらの人々の活躍が、日本の近代化を文化の面で発展させた。</p> <p>4 まとめを書く。</p>	<p>近代文化発展の背景には、明治初期以来の教育の普及や、日本の産業の発展があったことを表現している。</p> <p><b>【思・判・表】</b></p> <p>明治期の文化の発展と、教育の普及や産業の発展について関連させながら考察しようとしている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p>	<p>◇現在流通している紙幣</p> <p>◇近代文化の形成</p> <p>◇明治時代の小説家と作品</p> <p>◇就学率の変化</p> <p>◇自然科学の発達</p> <p>・主な人物の顔写真を提示する</p> <p>文化の発達と明治政府が進めた教育の普及をつなげて考えることができるようにする。</p>
	<p>この時代は、文学や芸術の面で新しい動きが起こってきた。それは欧米の要素を積極的に取り入れたものだった。科学の面でも世界の先駆けとなる発見や研究が行われた。それらは、明治維新の教育を受けた成果であった。</p>			